

オホーツクの住居跡から見つかった大量の「クマの頭部の骨」から アイヌの人々の生活・文化のルーツにせまる授業

中学校 第1学年 歴史分野

単元名 「身近な地域の歴史を調べてみよう」

札幌市立中の島中学校 教諭 鈴木 直

【1】単元のねらい

古代の単元の最後で取り扱う平安時代の終わりに、身近な地域の歴史を調べる活動を2時間設定した。北海道の歴史については縄文時代の単元で取り上げられているが、そこでの学習もこの2時間に組み込んで行う。北海道では1万年あまり前から2000年ほど前を縄文時代、2000年ほど前から、1500年ほど前を続縄文時代、800年前までを擦文時代、800年ほど前からをアイヌ文化の時代としている。どの時代も漁労、狩猟、採集が生業とし、厳しい自然環境の中で生活を送ってきた。その中で育まれた「自然への畏敬の心」に、オホーツクの人々の儀式や装飾品などから迫っていききたい。

《学習指導要領のおさえ》

身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。

【2】単元構成（5時間扱い）

- (1) 権力をにぎった貴族たち
- (2) 芽ばえる日本独自の文化
- (3) 原始・古代を整理して説明しよう
- (4) 身近な地域の歴史を調べてみよう① 続縄文文化から擦文文化
- (5) 身近な地域の歴史を調べてみよう② オホーツク文化からアイヌ文化へ（本時）



☆ 評価規準

【観点1】 社会的事象への 関心・意欲・態度	【観点2】 社会的な 思考・判断・表現	【観点3】 資料活用の技能	【観点4】 社会的事象についての 知識・理解
古代までの歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、古代までの文化遺産を尊重しようとする。	古代までの歴史的事象から課題を見だし、古代までの特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	身近な地域の資料から、地域的特色を読み取ったり、図表にまとめたりしている。	大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家の仕組みが整えられたことを理解する。「北海道・アイヌ民族の歴史」の独自性や特色を理解する。

【3】本時の目標

北海道の厳しい環境の中から生まれた文化を、資料を通して考え、理解する。【知識・理解】

【4】本時の展開（5／5）

時間	○生徒の学習活動	□教師のはたらきかけ	◇資料
0 導 入	○続縄文、擦文文化の時代の生活の確認 土器・石器・たて穴住居・毛皮・弓矢 農耕（アワ） 和人との交易 鉄の入手	□オホーツク文化時代の動物や角で作られた彫り物、積み上げられたクマの頭などを提示	◇写真 (クマの骨)
10 展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【学習課題】クマの骨は何のために飾られていたのか？ </div> ○ 自分の「説」 を考える ↓ ○ 4人グループで「説」 を考える <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 縄文時代に学習した「土偶」などの知識を活用させたい </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 権力アピール説→古墳の学習から ・ 飾り説 ・ 魔よけ説→熊は強い ・ 動物への感謝説 ・ 自慢説 ・ 霊、供養説 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自然を大切にし、感謝の気持ちを表していた。動物などは神の使いであると考え、儀式が行われていた。 </div>	 □各グループからの発表 □この文化を北海道で引き継いできた人々がいることを紹介 イオマンテの映像 □鮭の皮や木の皮で作られた靴や服などを紹介	◇ワークシート
30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> オホーツクで発見された熊の骨は、主に何かの儀礼に使用されていたと考えられる。このような動物などへの儀礼は、寒さなどで生活環境が厳しい状況の中から自然と共に共生していく文化がこの時代に作り上げられ、今の我々にも影響を与えている。 </div>		◇DVD ◇写真 ◇実物資料
ま と め	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の恵みに感謝すること ・ 全てのものを無駄にしないように ・ 「いただきます」大事に言いたい </div>	□発問 これからの自分たちの生活にも生かしていけることはないだろうか？	
35	○ゲストティーチャーの多原さん(札幌アイヌ協会)からアイヌの人々と動物たちとの関係、儀礼などについてお話を聞く	□今日の授業の感想を記入	

【5】実践を行う上でのポイント

「クマの骨の写真」はTVで掲示することに加え、各グループに配布すると良い。縄文・弥生時代の既習事項を活用しながら話し合うように指示すると、よりオホーツクの人々の生活に深く迫ることができる。